

平成 30 年度

校務改善推進事業発表会

校務改善NEWS 第25号
発行日 平成30年10月9日 事務局 東京都教育庁人事部長課
発行 校務改善推進会議 新宿区西新宿2-8-1 都庁第一庁舎北側30階

11月は・・・

校務改善月間

【校務改善月間とは～】
「小中学校の校務改善推進プラン」の各施策がより推進するように11月を「校務改善月間」としてあります。一人一人が校務改善について考え、できること、身近なことから取り組んでいきたいと思います。

どこかに参考事例ないの？

そのお悩みが助けになります。詳しくは・・・

次ページへ

何かやればいいの？

どんな取組があるの？

校務改善推進事業発表会、開催決定！！

▶日時▶
平成30年11月19日（月）
午後2時30分から午後4時45分まで

▶場所▶
都庁第一本庁舎5階 大会議場

▶参加対象者▶
東京都立小中学校校長・副校長・主幹教諭・事務職員等及び区市町村教育委員会の校務改善推進担当職員

▶内容（予定）▶
1. 開会の言葉
2. 挨拶
3. 今年度の取組
4. 事例発表① 青梅市立若草小学校
5. 事例発表② あきる野市五丁目中学校
6. 事例発表③ 品川区立第三日野小学校
7. 事務局挨拶
8. 閉会の言葉

▶1昨年度の様子。350人近くの方が参加されました。

▶当日は、青梅市立若草小学校・あきる野市立日野中学校・品川区立第三日野小学校の三校に事例発表を行いました。

▶「これならできそう。」「こんなやり方があるんだ。」など校務改善のヒントがたくさんあります。是非御参加ください。

▶参加の方法について▶
詳しい案内は、各区町村教育委員会に9月下旬に送付しておりますので、御確認ください。

東京都 校務改善 事務局
都庁第一本庁舎5階からご入れます。

都庁の事務局の電子で掲載しています。校務改善問題、できることから取り組んでみませんか？

校務改善月間 特別企画

「取組事例 大 紹介」

取組事例① <学校運営組織の改善>
前会の案を減らし担当を主幹が担当。管理職や主幹の主幹が第一線の声を拾いやすくなる。ミドルリーダーの活躍が経費の助けとなる。

取組事例② <日常の教育活動の効率化>
主幹と主任、主任と教諭、人材育成の観点で定期的に組ませる。業務の伝達を確実に行うことで、真面目であっても進捗が効率化につながる。会議直後に学年会で確認し、フォローをする。

取組事例③ <職員会議の効率化>
議題の所要時間を明記。会議が5分以内に収まるよう変更点のみを伝える。時間を意識した進捗が効率化につながる。会議直後に学年会で確認し、フォローをする。

取組事例④ <業務のルーティン化>
学級業務スタンダードや学校事務マニュアルを作成し、無駄な時間を省く。効率的なルーティンを進捗し、子供たちのために使える時間を確保する。

取組事例⑤ <学校経営支援部の取組>
教員の主体性、参画意識が多岐の解消になる。支援部の取組。取組による経営への参画意識が高まるなどのポイントアップが学校経営方針の確実な実行につながる。

取組事例⑥ <関係団体活動一貫作成>
学校を取り巻く諸団体の年間の計画をふまけて整理。活動の種差や代表性の味を、「目的」と「手段（＝支援や職員）」の均衡化と合理化を図る。

取組事例⑦ <学年便りのスリム化>
学年便りを学校便りの紙面に入れる。作成や印刷にかかる時間の削減とともに、作成に係る打合せも短時間で終わらせることができ、他の業務に充てる時間が生まれる。

取組事例⑧ <事務職員と業者の連携>
事務職員が工事業者などとの打合せに参加し、窓口役割を担う。情報と周知することで、小まめに教職員に周知することで、副校長の負担軽減につながる。

取組事例⑨ <予算計画の早期策定>
事務職員が休年度の予算計画を前年度の2月頃に作成。前年度末には仮決定を行う。新年度の教員の事務作業が円滑になり、学級に充てる時間が確保できる。

まだまだあります。「東京都 校務改善」で検索

できること、身近なことから校務改善

校務改善 ホームページ <http://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/ta/ta/kyomu.htm>
他にも数多くの学校の実践が掲載されています。是非、御覧ください。

平成 30 年 11 月 19 日 (月)

都庁第一本庁舎 5 階大会議場

東京都教育庁 人事部